

「学びの変容を実現させる授業改善のための
効果的なICT活用の推進についての一考察」
(1年次／1年)

島根県教育センター研究・情報スタッフ共同研究

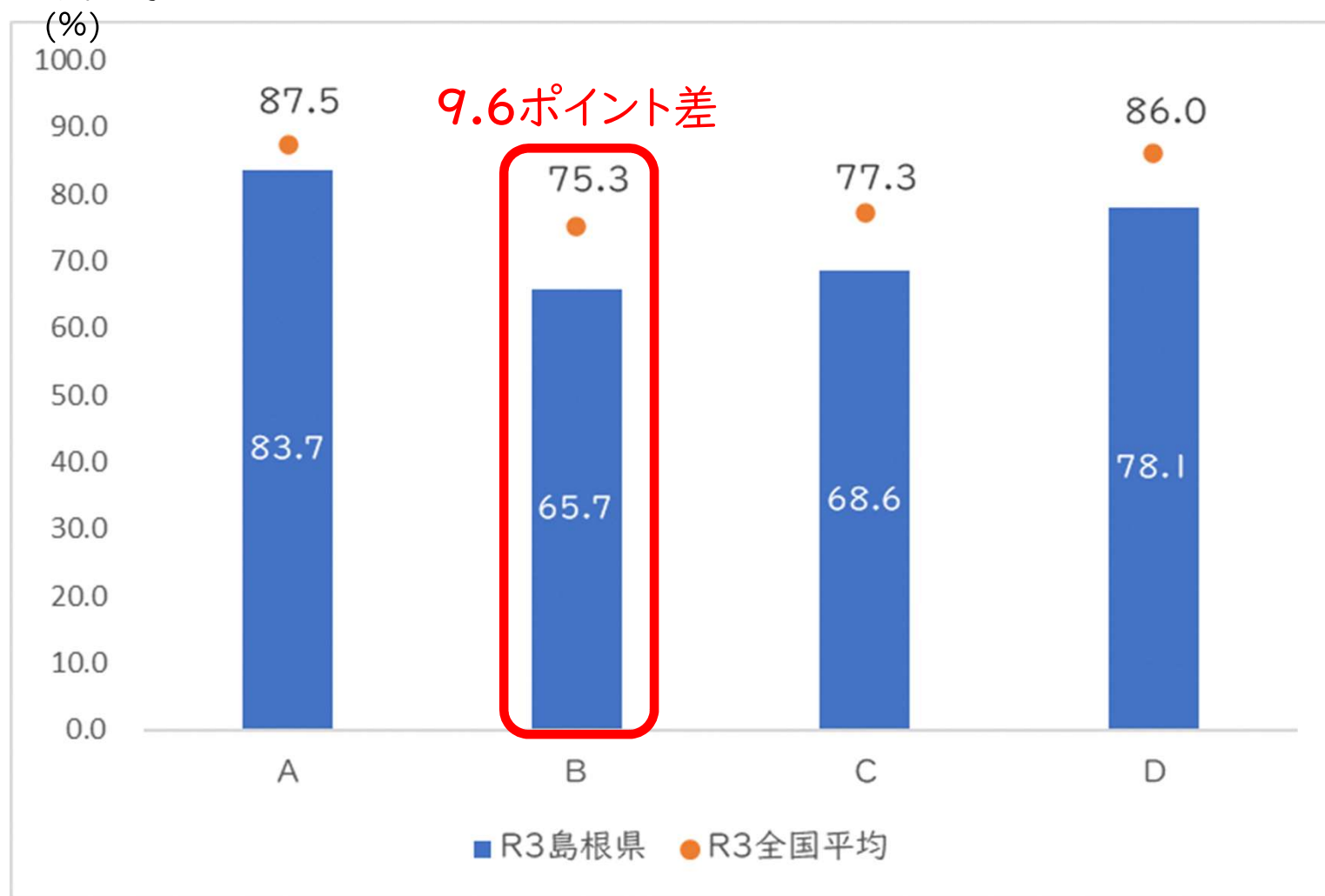
GIGAスクール構想、次の段階へ

- GIGAスクール構想は令和5年度で3年目
- 各地で取組事例が蓄積されている
- リーディングDX事業
- 学校DX戦略アドバイザー事業
- 取組事例の共有と効果の検証

教員のICT活用指導力

島根県の状況

- A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力 (%)
- B 授業にICTを活用して指導する能力 (%)
- C 児童生徒のICT活用を指導する能力 (%)
- D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力 (%)



文部科学省:学校における教育の情報化の実態等に関する調査より作成

島根県教育センター研究・情報スタッフ

教員が思うほど児童は使っていると感じていない

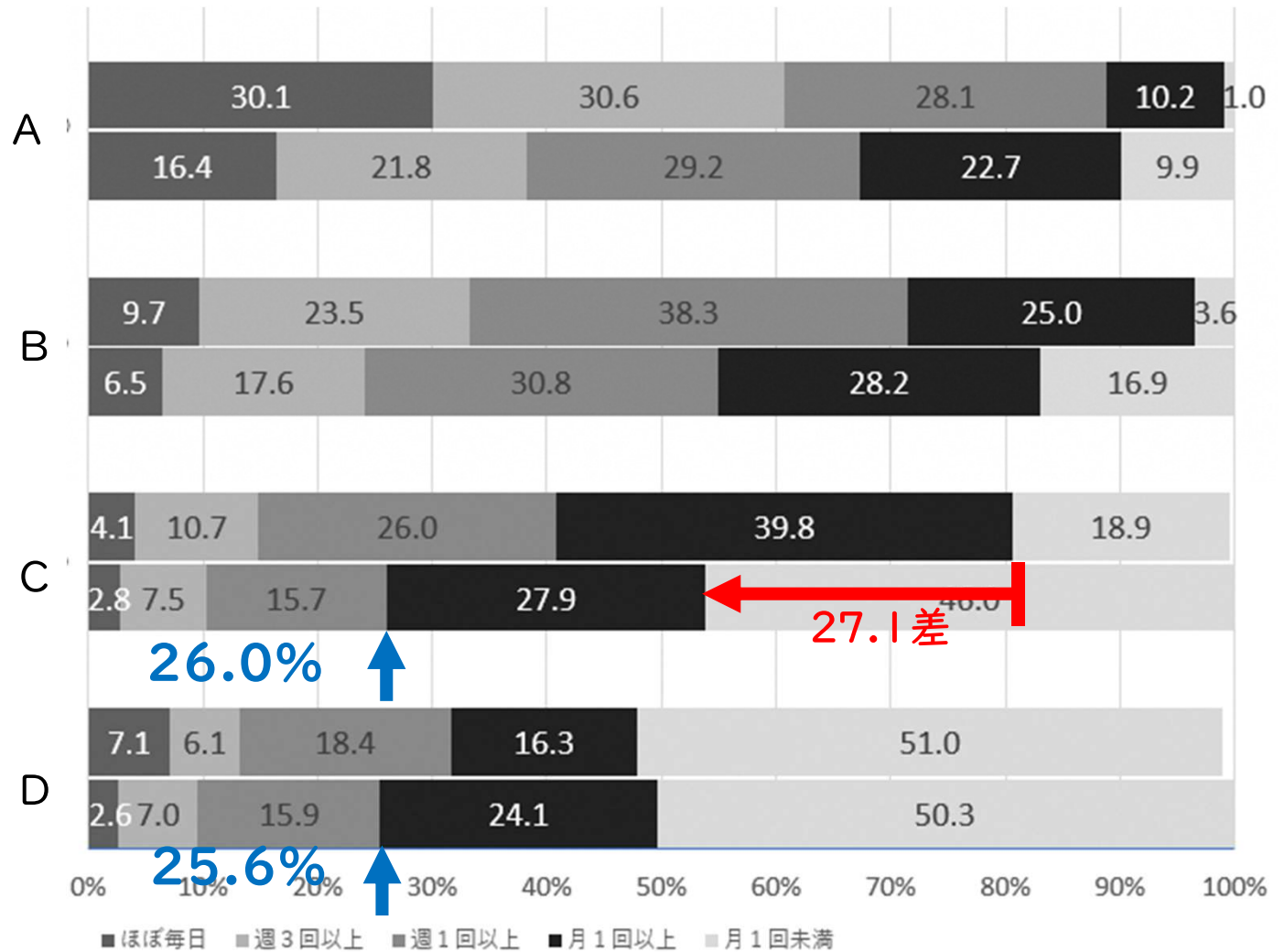
島根県の状況

○授業でのICTの活用

上段:教員
下段:児童

- A 「1人1台端末を授業で活用」
- B 「自分で調べる場面で使用」
- C 「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面でどの程度使用したか」
- D 「児童同士がやりとりする場面」

※中学校も同様の傾向



26.0%

27.1差

25.6%

文部科学省:令和4年度全国学力・学習状況調査学校質問紙、児童生徒質問紙調査結果より作成

学びの変容を実現した授業改善が進んだ姿とは

主体的・対話的で深い学びの実現

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ・各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

子どもが自分の学びを調整している姿
話し合い活動が積極的に行われている姿

文部科学省：「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】より

島根県教育センター研究・情報スタッフ

研究の目的

学びの変容を実現させる授業改善のための効果的なICT活用の推進を実現するために、どのような取組が効果的であるかを明らかにする。

研究の仮説

ICT活用を推進している学校では、
次にあげるような要素を見出すことができるであろう。

授業の中で

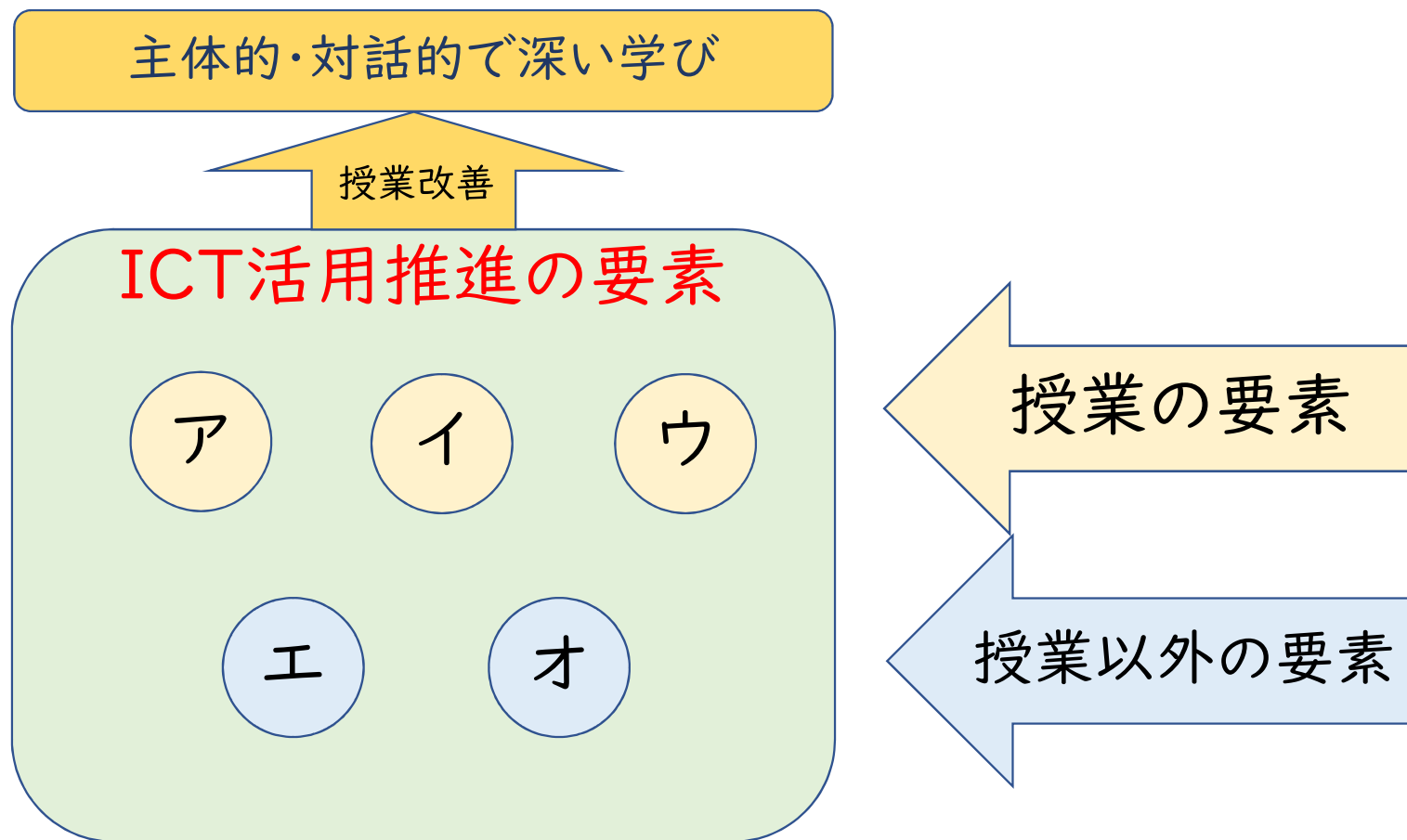
㊦クラウドの活用 ㊧学び方の選択 ㊨アウトプット

授業以外で

㊩校務での活用 ㊪教職員同士の学び合い

研究の仮説

イメージ図



- ㊦クラウドの活用
- ㊧学び方の選択
- ㊨アウトプット
- ㊩校務での活用
- ㊪教職員同士の学び合い

視察した学校

A

管理職のリーダーシップと
全教職員の意識共有で
推進している学校

B

ICT推進担当が
率先して事例共有を
進めている学校

C

ICT活用が
進みだした学校

D

外部と連携し積極的に
活用を進めてきた学校

E

PDCAサイクルを回して
活用を進めている学校

管理職のリーダーシップと全教職員の意識共有で推進している学校

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

A校

- ・チャットで意見交換 **ア**
- ・クラウドで授業計画を共有 **ア**
- ・活動は生徒一人一人のタイミングで **イ** **ウ**
- ・使い方、学び方は生徒が自分で **イ**
- ・全体発表とデータ共有でアウトプット **ウ**
- ・校務でもICT活用、教職員で意識の共有 **エ** **オ**
- ・学校HPで積極的に情報を公開

席が離れていても
考えがわかる

詳しく話し合いたい
ときはそばに行く

作業を分担して
発表資料が
すぐできる

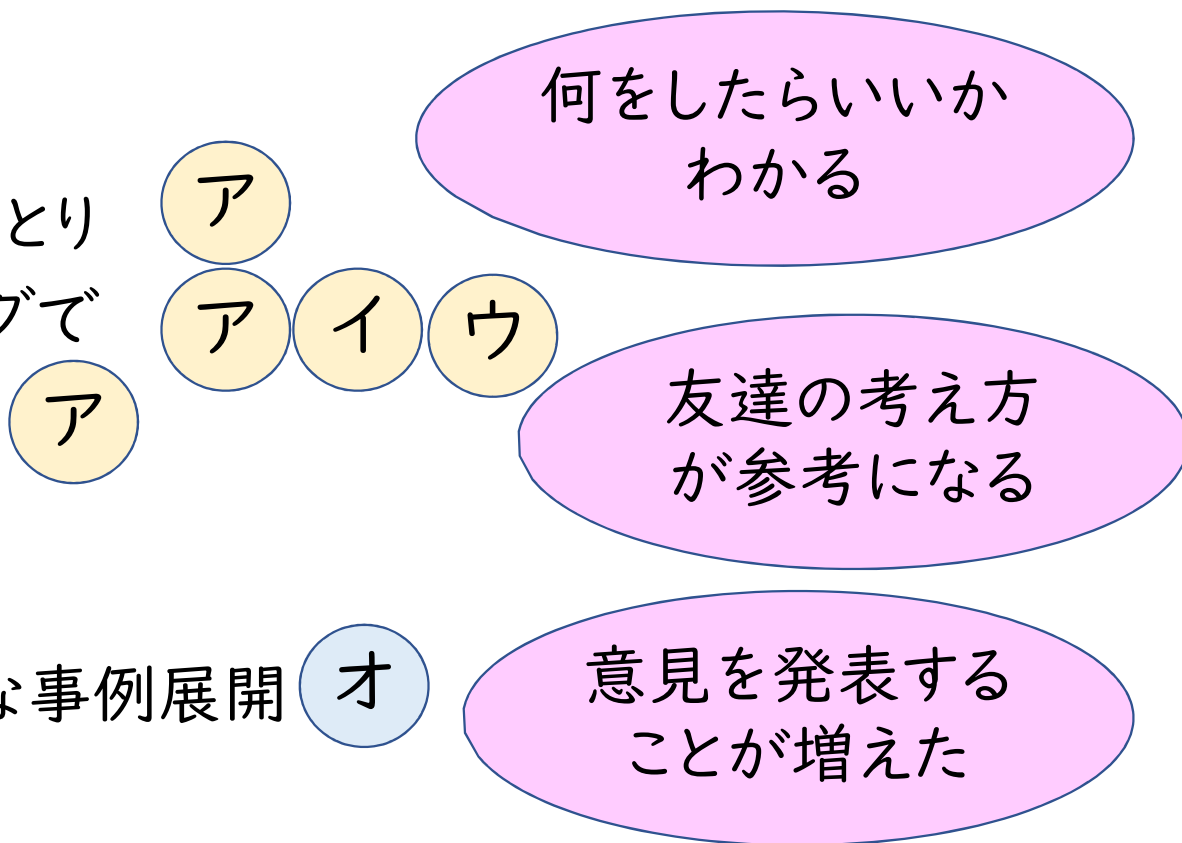
㊦クラウドの活用 ㊦学び方の選択 ㊦アウトプット
㊦校務での活用 ㊦教職員同士の学び合い

ICT推進担当が率先して事例共有を進めている学校

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

B校

- ・クラウド上でめあてや予定をやりとり
- ・活動は児童一人一人のタイミングで
- ・振り返りをクラウドで共有
- ・意見共有の効率化
- ・ICT活用は学びを深める段階へ
- ・ICT推進リーダーによる積極的な事例展開



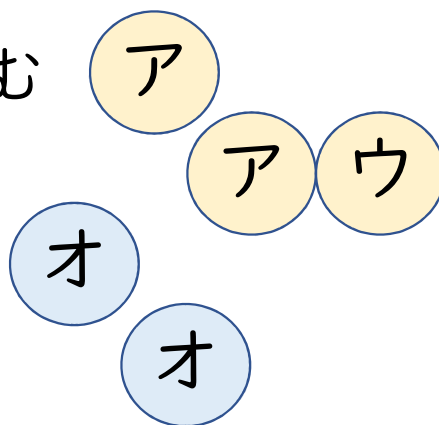
- | | | |
|----------|-------------|---------|
| ㊦クラウドの活用 | ㊦学び方の選択 | ㊦アウトプット |
| ㊦校務での活用 | ㊦教職員同士の学び合い | |

ICT活用が進み出した学校

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

C校

- ・互いの意見を見る、書き込む
- ・発表資料の共有、提示
- ・職員室での学び合い
- ・実践を共有する場の設定



今までの授業
より楽しい

失敗も共有

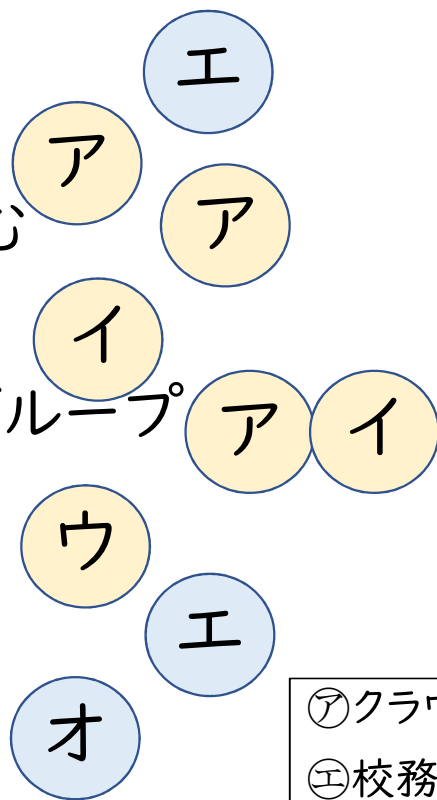
㊦クラウドの活用 ㊦学び方の選択 ㊦アウトプット
㊦校務での活用 ㊦教教職員同士同士の学び合い

外部と連携し積極的に活用を進めてきた学校

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

D校

- ・校務も授業も同じ端末
- ・クラウドを使ってやりとり
- ・互いの考えを見る、書き込む
- ・紙とICTの併用
- ・自分のタイミングでペア、グループ
- ・電子黒板で発表
- ・授業以外でもICTを活用
- ・立場を超えて学び合い



手書きよりも打つ
ほうが速くできる

世の中に出たときと
同じやり方で学べる

困ったら
生徒に聞く

情報活用能力が
高まった

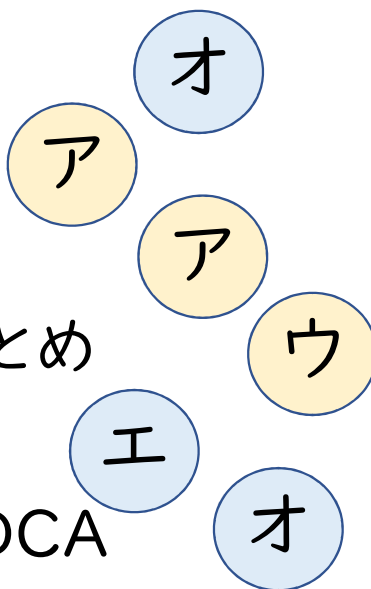
- | | | |
|----------|-------------|---------|
| ㊦クラウドの活用 | ㊦学び方の選択 | ㊦アウトプット |
| ㊦校務での活用 | ㊦教職員同士の学び合い | |

PDCAサイクルを回して活用を進めている学校

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

E校

- ・視察事例の共有、実践
- ・クラウドで配布、提出、共有
- ・互いの考えを見る、書き込む
- ・プレゼンテーションソフトでまとめ
- ・校務でもICT活用
- ・ICT活用指導力体系表でPDCA



考えている途中がわかる

便利さを実感して授業にも

- ア クラウドの活用
- イ 学び方の選択
- ウ アウトプット
- エ 校務での活用
- オ 教職員同士の学び合い

ICT活用が進んでいる学校の共通点

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

- ・クラウドの活用（相互参照、共同編集、情報共有）
- ・子ども主体の授業（学び方、手段の選択）
- ・アウトプットの場面（インプットだけで終わらない）
- ・管理職（引っ張る、後押しする、環境を整える）
- ・ICT活用推進リーダー（自ら実践、事例の収集と発信）
- ・校務でも活用（クラウドの便利さを実感→授業で使う）
- ・支持的な雰囲気（とにかく使う、みんなで取り組む）

主体性が増した

集団として
落ち着いた

ア

イ

ウ

エ

オ

㊦クラウドの活用 ㊩学び方の選択 ㊭アウトプット
㊧校務での活用 ㊮教職員同士の学び合い

学校の自走を促す教育委員会

授業改善が進んでいる学校や地域の取組

江津市教育委員会との取組

- ・教育センターとの継続的な関わり
- ・実態に沿った研修内容の立案、研修
- ・ICT活用全体構想作成への情報提供
- ・対話を通じた学校ニーズの詳細な把握

顔がわかる関係で
聞きやすい

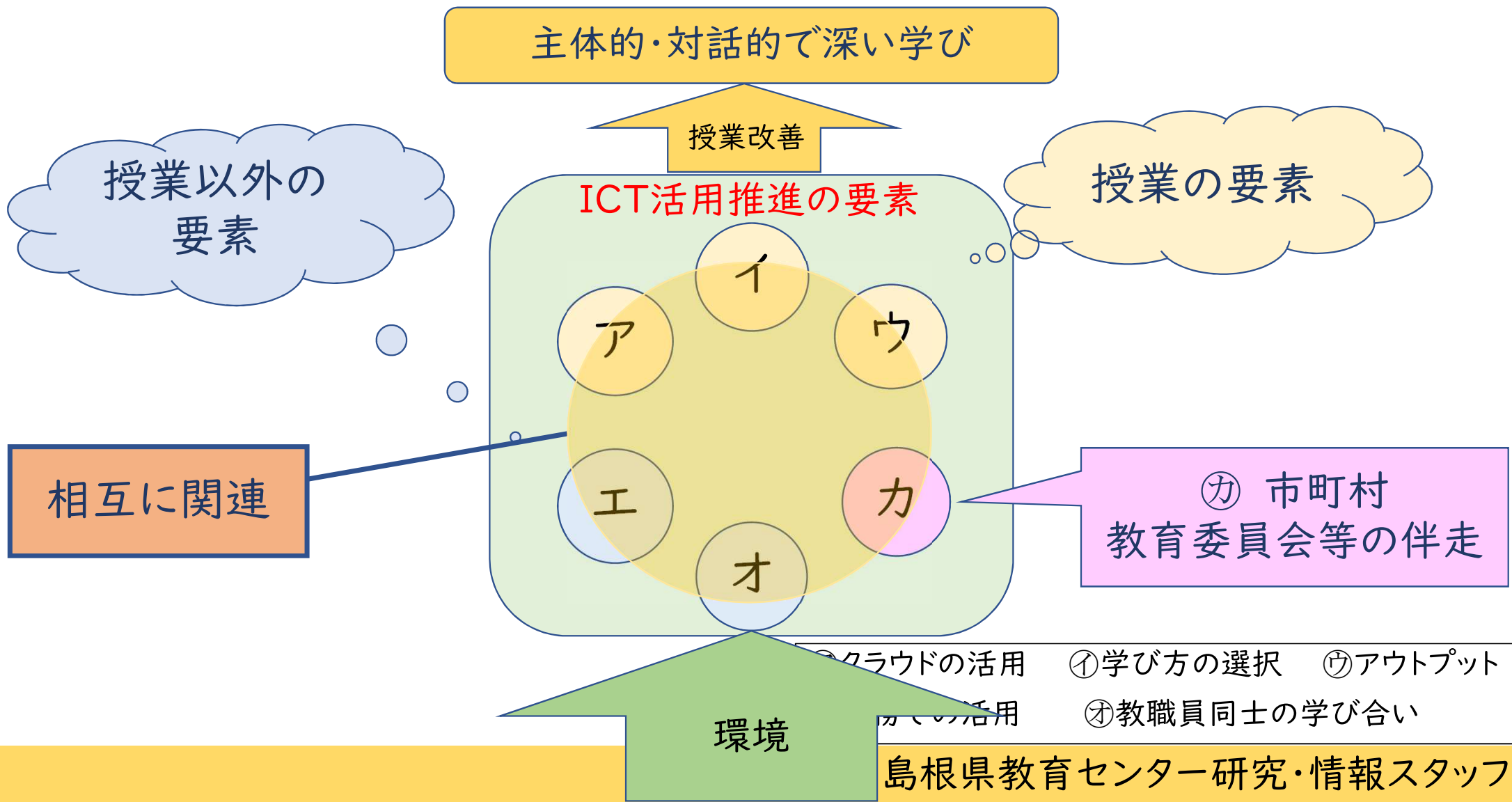
ほどよい負荷の
研修内容

研修して終わり、
ではない

㊦クラウドの活用 ㊦学び方の選択 ㊦アウトプット
㊦校務での活用 ㊦教職員同士の学び合い

島根県教育センター研究・情報スタッフ

まとめ



主体的・対話的で深い学び

授業改善

ICT活用推進の要素

授業以外の要素

授業の要素

相互に関連

カ) 市町村教育委員会等の伴走

環境

- ①クラウドの活用
- ②学び方の選択
- ③アウトプット
- ④教職員同士の学び合い
- ⑤ICTの活用

島根県教育センター研究・情報スタッフ

研修で大事にしてきたこと

今後に向けて

一緒に作成
相互にフォロー

ワークシートは
クラウドで

相談、質問、検索
いつでもどうぞ

気づき・感想を発表

校務、授業で
やりたいことリストを共有

令和5年度

- ・出前講座・要請訪問 22講座 のべ299人の受講
- ・能力開発講座 11講座 のべ93人の受講

次年度に向けた展望

①教育センターもICT活用

クラウドの理解、業務でのクラウド活用、全研修でのICT活用
研修成果を広げる工夫、研修時の環境

②連携と発信の強化

市町村教育委員会等との連携
所管を含めた先進校の取り組み方や成果の紹介

③GIGAスクール構想第2期に向けて

端末更新を見据えた研修内容の更新
教育DX等の最新情報の収集

ご清聴ありがとうございました。